

6月2日に令和7年第3回富里市議会定例会が開会しました。

「成田空港の機能強化」について

令和7年5月25日に、成田空港のC滑走路新設とB滑走路延伸を行う機能強化の本格工事開始を記念した「成田空港の更なる機能強化着工式典」にお招きいただき、田口議長とともに出席してまいりました。

式典では、N A A田村社長の主催者あいさつ、国土交通副大臣をはじめとした来賓あいさつに続き、鍬入れの儀が執り行われ、田村社長からは、「本事業は、地域との信頼関係を基盤として進められるものであり、安全かつ着実に進められるよう全力を尽くす」とのお話があり、空港周辺9市町の一員として、成田空港と周辺地域との一体的な振興及び発展の可能性と重要性を改めて認識するとともに、本市といたしましても、工事の進捗に併せ、遅れることなく更なるまちづくりに取り組んでいく決意しております。

また、滑走路整備に向け用地確保を加速化する

ため、N A A、国土交通省、千葉県、空港用地が所在する3市町による「成田空港滑走路新增設推進協議会」が5月27日に発足したと伺っております。

富里市国民健康保険の安定に向けた取組について

国民健康保険制度の財政運営主体である千葉県では「千葉県国民健康保険運営方針」を策定し、制度の安定的な運営及び効率的な事業の確保に努めております。

一方で、国民健康保険制度は、被保険者の医療費水準が高く、所得に占める税負担が大きいなど、構造的な課題を抱えており、保険税率を据え置いてきた本市においても、制度を維持するために大幅な保険税率の引上げを行うこととなり、現在の物価高騰など社会状況も踏まえると、混乱を招くことが懸念されます。

このような状況を踏まえ、令和7年5月に千葉県を通して、国に対し財政支援による激変緩和措置について要望をしたところであり、さらには、将来にわたって持続可能な国民健康保険運営を図るため、

財政健全化の取組に対する方針として、独自の「富里市国民健康保険財政運営方針」の策定を進めているところです。

国民健康保険財政運営方針では、国民健康保険の現状・課題と今後の見込みや、保険税率改定の考え方、歳入確保及び歳出抑制に向けた取組についてお示しするもので、今後の健全な国民健康保険の運営に向けて活用してまいりたいと考えております。

外国人市民との共生社会の実現に向けた取組について

富里市には多くの外国人の方が在住され、令和7年4月末日現在の外国人市民は4,429人で、全市民に対する割合は8.89パーセントとなっており、高い比率を推移しています。

一方では、特定活動や家族滞在などの在留資格の割合も増え、日本の法規やマナーを学ぶ機会が少ない外国人市民が増えつつあり、ルール等が浸透せず、トラブルや犯罪に発展するおそれがあります。

そこで、令和6年10月に成田警察署や千葉県等と設置した「富里市外国人安全対策会議」では、外国人のコミュニティが生まれている店舗や事業所等を中心に協力を仰いで、日本のルールやマナーの浸透を図る活動を実施することを確認いたしました。

また、本市と包括連携協定を締結している日本大学芸術学部の協力のもと、制作していただいた、「協力店舗用ポスター」を、協力いただける店舗に貼り出し、さらには来客の外国人に「基本的なルールブック」を配布するなど、啓発を行っていただくことで、ルールやマナーの浸透を図ってまいります。

また、5月に入り、外国人に関連する報道等もあることから、本活動に先駆けて、5月27日から外国人のコミュニティの生まれる店舗等に成田警察署や成田土木事務所とともに、注意喚起のパトロールを実施しているところであり、今後も外国人市民との共生社会実現に向けて、取組を加速してまいります。

旧岩崎家末廣別邸主屋の一般公開について

旧岩崎家末廣別邸につきましては、平成２４年に三菱地所株式会社様から寄附をいただき、平成２５年に歴史的価値を有する主屋、東屋、石蔵を確実に保存するため、国登録有形文化財とし、庭園部分につきましては、かつての末廣農場の景観を唯一残す場所として、市の指定史跡といたしました。

しゅおく主屋につきましては一般公開を目指し、令和４年度から令和６年度までの３か年をかけて整備を進め、令和７年３月に工事が完了したことから、令和７年４月２６日より一般公開を開始いたしました。

しゅおく主屋の一般公開後、令和７年５月末日現在１，４１８人が来館し、歴史や文化に触れ、別邸に関心を寄せていただいております。

今後も、「旧岩崎家末廣別邸」をはじめ、旧岩崎久彌末廣農場別邸公園及び末廣農場と連携し、本市の魅力発信を強化してまいります。

酒々井町との学校給食センター共同利用について

令和 7 年 9 月から開始する共同利用に先立ち、富里市・酒々井町の子どもたちから富里市学校給食センターに愛着を持っていただくとともに、給食に対する関心を高めるために、富里市立及び酒々井町立の小・中学校の児童・生徒を対象に愛称を募集いたします。

募集期間は令和 7 年 6 月 9 日から 7 月 7 日までとしており、募集方法は各学校を通じて、応募用紙の配布及び回収を予定し、採用作品の選定に当たっては、本市と酒々井町で構成する事務局で審査を行い、決定いたします。

また、共同利用開始を記念し、セレモニーの開催に向け、現在、酒々井町と協議しており、セレモニー開催時には、愛称を付けていただいた児童・生徒さんもお招きできればと考えています。

今後も引き続き、子どもたちの健やかな成長を支える教育環境の整備・充実に努めてまいります。

富里市総合計画（後期基本計画）策定について

現行の富里市総合計画（前期基本計画）が、令和 8 年度末で計画期間が満了となることから、令和 9 年度から令和 13 年度までを計画期間とする「富里市総合計画（後期基本計画）」の策定に着手しております。

本計画は、前期基本計画の評価・分析を行うとともに、市民ニーズや地域の特性を的確に捉え、あわせて、まち・ひと・しごと総合戦略を一体的に策定するものとしています。

そのような中、現在、七栄北大溜袋地区において、都市計画提案制度を活用した流通業務施設の整備が「株式会社エルマックス」により進められており、国道 296 号周辺などから見える景色が大きく変化しております。

また、都市計画道路 3・4・20 号成田七栄線の沿道及び周辺地域では、幹線道路沿道地域としてのポテンシャルをいかした土地利用が計画され、商業施設や流通業務施設等を集積することで、利便性の高い複合市街地の景色へつながることが期待されて

おり、今まで行ってきた取組が実を結び始めていると実感しています。

次期総合計画（後期基本計画）の計画期間においては、「第2の開港」と言われる成田空港の滑走路の延伸及び増設による供用開始が予定されており、年間発着回数及び雇用の増加など、成田空港の機能強化をはじめとした状況の変化を的確に捉えた上で計画に反映するとともに、基本構想に掲げた目指すべき将来像の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

現在、進めている各施策の進捗について

（１）結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう環境づくりへの取組について

「結婚から子育てまでの重点支援プロジェクト」の第１弾として、令和７年度からスタートした７つの施策の１つ、『若者ライフデザインセミナー』につきましては、ライフスタイル、ワークスタイルが多様化する中、これからの富里市を担う若い世代が、仕事・結婚・子育てなど、自分らしい生き方について考えるきっかけとなるよう、セミナーを開催するものです。

現在、秋以降の開催に向け、プロジェクト委員のほか、令和６年度若者プロジェクトの関係者にもアンケートを実施し、頂いた御意見をもとに、講師及び会場の選定を進めるとともに、リラックスした雰囲気の中、講演のほかパネルディスカッション等を用いた双方向の形式での実施を検討しており、対象者は２０歳代の若者、２０名程度を予定しています。

また、残る６つの施策の進捗状況につきましては、

令和 7 年 5 月末日現在、結婚新生活支援補助金の相談が 9 件、不妊症及び不育症治療費助成の相談 5 件、家事育児訪問支援の相談 2 件、申請 1 件、妊産婦・子どもオンライン相談の登録 28 件、利用 10 件、赤ちゃんおむつ購入費助成の送付 16 件、近くであんしん多世代住宅支援補助金は、相談が 19 件あり、1 件の給付を決定しています。

今後は更に周知を図り、多くの皆様に御利用いただけるよう取り組んでまいります。

(2) 保育の充実への取組について

本市における認可保育施設の待機児童につきましては、令和 7 年 4 月 1 日現在で待機児童が^{ゼロ}0 人となりました。

これは、平成 16 年度から令和 6 年度までの 4 月 1 日時点で、最大 73 人であった待機児童が、平成 15 年度以来、約 20 年ぶりに解消したものとなります。

入所申込数が減少しない中で、待機児童を解消できた要因といたしましては、旧保健センターを活用した

事業所を含む保育施設４園の開設、幼稚園２園の認定こども園化や定員を超えて受入れを行う保育施設など民間事業者との協力、また、市立浩養幼稚園の３歳児受入れと市立富里幼稚園の預かり保育時間をこども園並みに延長したことや、さらには、民間保育士の人材確保のための補助金を市独自に拡充したことなどにより、待機児童の解消につながったものと受け止めております。

今後も、保育の人材確保を推進し、安心して預けられる体制を整え、待機児童ゼロの継続を目指します。

（３）子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進について

コロナの影響により、運動する機会が減った幼児期の体力向上を目指すことを目的に、公立・私立のこども園・幼稚園において、令和５年５月から「一般社団法人鬼ごっこ協会」の協力を得て、「鬼ごっこを取り入れた幼児期の運動遊び」を開始し、幼児期の体力向上を図っております。

また、令和６年度からは、幼児期で得られた効果を

小学校においても展開できるよう、小学１・２年生の体育の授業に「スポーツ鬼ごっこ」を導入し、鬼ごっこ協会公認の３級ライセンスを取得した市職員が、小学校教諭をサポートしております。

令和６年度末の小学１・２年生の５０メートル走のタイムは、鬼ごっこ導入前より、６パーセントから１０パーセント向上し、小学１年生男女と小学２年生女子では、千葉県平均を上回る効果が見られ、児童からは、「運動が得意になった」・「スポーツ鬼ごっこが楽しかった」という声があり、また、先生方からは、「瞬発力、敏捷性^{びんしょう}の高まりを感じた」・「スポーツ鬼ごっこを通して新しいリーダーが生まれた」などの声も聞こえております。

また、市立こども園・幼稚園の４・５歳児においても、年間を通して鬼ごっこを取り入れた運動遊びを実施したことで、令和６年４月の数値と比べ、２５メートル走やソフトボール投げなどの５つの測定において、６パーセントから１９パーセント向上し、鬼ごっこの効果が得られているものと考えております。

なお、令和７年度は、市立こども園・幼稚園の４歳児

から小学３年生まで拡大し、子どもたちの更なる元気度UPにつなげてまいります。

（４）高齢者福祉の充実を図る取組について

令和６年度から開始した、高齢者の補聴器購入助成に続き、「聞こえ」に関する支援を更に推進するため、令和７年５月に、市役所内各フロアのほか、市内公共施設、各地域包括支援センターに「軟骨伝導イヤホン」を１０台導入しましたが、これは、千葉県内において最多の導入台数となっております。

「軟骨伝導イヤホン」は、耳の入口付近の軟骨組織に振動を与え、耳の中の空気振動を鼓膜が捉えて音を聞く方式を利用したイヤホンで、加齢等により聴力が低下し、日常生活での「聞こえ」に不安を感じる方が、どの窓口にお越しいただいても安心して利用いただけます。

実際に利用された市民の方からは、「会話が良好にできる」・「よく聞こえるので自宅にも欲しい」などの声をいただいております。

また、地域包括支援センターでは、住民参加型の会議や、聞こえに不安を感じる方への訪問時のツール

として使用するなど、更なる活用を図り市民の方々との円滑なコミュニケーションを推進してまいります。

（５）市民を気候変動から守る取組について

児童生徒の学習・生活の場である体育館において、地球温暖化の影響による熱中症のリスクを回避するため、空調機設置作業を進めているところですが、令和７年７月から、小・中学校全１０校の体育館で空調機の稼働を開始します。

また、富里社会体育館の空調機につきましても、小・中学校と同様に、令和７年７月から空調機の稼働を開始し、年間を通じて快適に御利用いただける施設となることから、「とみさと元気なまち宣言」の推進に当たり、新たな節目を迎えることとなります。

そこで、現在、節目を記念したセレモニーを６月２８日・土曜日に^{もよお}催したく、準備を進めるとともに、記念セレモニー開催に先立ち、新たな富里社会体育館に親しみを持ち、活用が促進されるよう、市内の中学校３校の１年生から３年生までの、１,１０７名の生徒さんに、５月２３日から６月１０日までの間で愛称の募集を

行っているところです。

愛称については、記念セレモニー内で発表するとともに名付け親となった方へ感謝状を贈呈させていただく予定であります。

（６）地域の安全・安心を守る消防団の充実強化への取組について

総務省消防庁が地域防災力の充実強化に向けて取り組んでいる「消防団の力向上モデル事業」に、本市提案の「消防団員準中型（中型）運転免許資格取得事業」が採択され、実施します。

本事業は、消防団の充実強化につながる地方公共団体の取組を全額国費の支援を受けて実施する事業で、消防団員２３名に、現在所属している地元消防団の消防車両を運転するために必要な運転免許の取得と、消防団員を対象とした緊急自動車運転技能講習を行うもので、本定例会に本事業に係る補正予算案を提出しております。

本事業は、令和７年７月から年内を目途に実施し、運転免許取得により、全体の９８．８パーセントの

消防団員が所属する分団の車両の運転が可能となることで、消防活動の円滑な遂行と地域防災力の充実・強化を図ってまいります。

（７）持続的な展開による農業振興の取組について

本市では、地域の農業者や農業協同組合などの関係者と連携し、全国的に大きな問題となっているイノシシやアライグマなどから富里農業を守るため、わなによる捕獲や電気柵による防除への支援など、農業者を中心とした実施隊をはじめ、地域が一体となって有害鳥獣対策に取り組んでいます。

現在、７７名の隊員に日常的に活動を行っていただいておりますが、高齢化や担い手不足に加え、わなの見回りなど隊員への負担が課題となっています。

このため、これまでの対策に加え、県内では例のない、送信機能を備えたセンサーカメラと、わなの作動を感知し知らせる、一体的な「わな監視システム」に必要な、ＩＣＴ機器を導入し、より効果的かつ効率的な捕獲により、被害防止につなげてまいります。

また、^{ジーアイエス}G I Sを活用し、被害状況や捕獲情報などのデータを可視化することで、これまでの対策の効果検証を行うとともに、今後の対策の基礎データとして活用し、持続可能な営農の実現に向けて支援してまいります。

なお、設置時期につきましては、7月から8月を予定しています。

(8) これから最盛期を迎える富里すいかに関連した取組について

いよいよ開催が近づいてまいりました『第42回・富里スイカロードレース大会』は、今年も、北海道から沖縄までの全国各地から多くの方々からエントリーをいただき、約6,700人のランナーをお迎えし、スローガンを「スイカ三昧・^ラR u n・^ウw i t h・^ズj o y・^{ジョイ}」として、6月15日・日曜日の開催に向けて準備を進めております。

前回大会からの主な変更点として、更なる救護体制の強化を図るため、参加しながら救護活動及び救護スタッフの補助を担っていただく、医師・看護師・

救急救命士 25 名のメディカルアシストラナーの導入と、レース序盤の給水所にランナーの体温上昇の抑制を図るための冷水を設置いたします。

また、今大会は来年度の 10 km コースの復活を目指す上で、7 km コースのラストランとなることも考えられることから、記念に残る企画を準備させていただいております。

特に、日本大学芸術学部の御協力により、すいかカラーを基調とし、「走って」「食べて」「楽しんで」をイメージした、特別な参加賞 T シャツを制作し、また、スイカをデザインした参加記念ハンドタオルも参加者の皆様に御用意させていただきます。

このほか、大変御好評いただいている「おもてなし企画」を更にバージョンアップし、^{ウ ェ ブ}Web 上で簡単な質問に答えるだけで、御自身の走り方のタイプや特徴を知ることができるランナータイプ診断、また、大会に参加した思い出を素敵なものにしていただくための大会限定フォトスポットを追加するなど、ランナーの皆様に楽しんでいただける企画を御用意しております。

さらに、ゲストラナーには、スイカ好きで知られ、2024年から富里市内でスイカ栽培もされているタレントの山田邦子さんと、前回大会7km一般女子の部で、第1位を獲得されたランニングインフルエンサーの「まかラン」さんをお招きし、共に大会を盛り上げていただきます。

本大会の最大の特徴である「給スイカ所」や、ゴール後の「スイカサービスコーナー」では、生産者の方々が丹精込めて育てあげた富里すいかを堪能していただき、大会に参加される全ての方が、更に富里を好きになっていただけるよう、市民一丸となって大会を盛り上げてまいります。

次に、『すいかまつり』についてでございます。

本市の特産品である「すいか」の生産振興を目的とした「すいかまつり」を、6月22日・日曜日、富里中央公民館前駐車場にて開催いたします。

令和7年度のすいかまつりでは、毎週土曜日23時からテレビ東京系列で放送されているテレビアニメ

『^{クーロン}九龍ジェネリックロマンス』の主人公が、すいかを

こよなく愛していることが御縁で、この度、コラボレーションすることとなりました。

まつりのイベントやSNSを活用したPRなど、アニメ作品を通じて、より多くの方に富里すいかを知っていただければと期待しております。

また、すいかまつり当日は、前日に開催される「すいか共進会」で出品された、すいかの展示や即売会のほか、とうもろこしなどをはじめとする新鮮な富里産農畜産物の販売や、すいかの早食い競争、カットすいかの無料配布などを予定しています。

「すいかまつり」は、例年、市内外から5,000人を超える方々が参加していただいております。今年度においても皆様に御満足いただくまつりに向け準備してまいります。

また、『富里すいか^{シーズン}2025』と題して、富里市が一年を通じ最も賑わうこの季節に「富里すいか^{シーズン}」を冠に、一体的・連動的に15の事業を展開いたします。

今年は、令和6年12月に勝浦市と締結した「海と陸との交流協定」後、はじめてとなる、すいかのPRとして「かつうら朝空マーケット」に出店し、先着200名の方にカットした自慢の富里すいかを無料配布するとともに、生産者や農協と連携した、新鮮な農産物の販売によるPR活動を行います。

また、すいか生産者の担い手確保を目的とする富里すいか産地体験会では、4月26日に開催した体験会に引き続き、7月に収穫体験を開催し「すいかを作りたい」とお考えの皆さんを、生産者・農協・千葉県・市が一体となって応援してまいります。

さらに、大変御好評をいただいております「富里スイカオーナー制度」は、5月10日の「札付け体験」は残念ながら、雨で中止となってしまいましたが、6月29日に、100名のスイカオーナーをお招きし、大きく育ったスイカを収穫・出荷を体験するなど、富里ならではの農業体験イベントを楽しんでいただきます。様々なイベントを展開する「富里すいか
シーズンニーマルニゴー
Season 2025」により、昨年以上に盛り上がるよう取り組んでまいります。

(9) 世代に応じた食育と地産地消の推進について

市内全小・中学校及び市立幼稚園の給食に「富里すいか」を提供する『ワクワク！富里すいか学校給食Day！』を6月10日・火曜日に実施いたします。

本事業は、市内の子どもたちが、すいかの名産地としての誇りを持ち、また、特産品のすいかを通じた郷土愛の醸成が図られるよう、令和3年4月の「すいか条例」制定後から継続して実施しており、すいかの喫食^{きっしょく}のほか、小・中学校では、児童生徒が校内放送で「富里すいか」について紹介し、知識を深めていきます。

当日は、私も七栄小学校で、3年生の児童の皆さんと一緒に給食を頂くこととしており、また、4月15日に実施した食農学習で植えたすいかの苗の生育状況の確認や整枝作業を行い、7月の収穫に向けた学習を合わせて行っていく予定となっております。

（１０）市民と行政の協働による地域社会づくり の取組について

第５期・若者プロジェクトメンバーを募集いたします。

本プロジェクトは、若者たち自らが、地域課題の解決策や若者の発想から展開される新たな施策を企画立案し、事業化を目指すものであり、若者たちがまちづくりに参画するきっかけでもあります。

今回で、５期生となる「若者プロジェクトチームメンバー」１５名を、本日６月２日から募集を開始し、また、若者たちのアイデアとパワーを更に引き出し、富里の魅力を伝え、企画や事業実施などに向けた後押しをするサポートメンバーを今期も、同時に募集いたします。

持続可能なまちづくりへ、若者たちがどのような取組を展開していくか期待しております。

(11) 情報・文化の発信拠点であるとみらいテラスについて

平成15年3月27日の開館以来、多くの皆様に利用いただき、令和7年4月末日で、595万9,617人の方に来館していただいております。令和7年7月頃に来館者数が600万人に達する見込みとなったことから、「来館者600万人達成記念セレモニー」と「認定証授与式」を開催いたします。

達成日に実施するセレモニーの開催日につきましては、とみらいテラスのホームページにおいて、来館者数のカウントダウン表示でお知らせするとともに、記念として、くす玉割りなどでお祝いする予定です。

また、「認定証授与式」につきましては、日を改めて市役所本庁舎にて、日本大学芸術学部に依頼した、「来館者600万人達成記念オリジナル・デザイン盾」などの記念品の贈呈とともに実施いたします。

さらに、記念事業として、達成月の翌月1日から、図書館カードをお持ちで希望される方を対象に、図書館貸出記録を印刷することで遊び心と読書意欲の向上を図る「新読書通帳」を5,000冊限定で配布する予定です。

今後も、より多くの市民の皆様に、御来館いただけるよう取り組んでまいります。

（１２）若者達による輝かしい活躍について

県立富里高等学校ジャズオーケストラ部「ザ・マッド・ハッターズ」につきましては、５月７日から１１日に開催された、ジャズの最高峰、アメリカ、ニューヨークのジャズ・アット・リンカーンセンター主催の高校生ビッグバンドコンペティション世界大会に、アジアから初となる唯一の招待校として、出場されました。

世界中のジャズを志す若者たちにとってまさに夢の舞台となる本大会で、これまでの練習の成果を存分に発揮した素晴らしい演奏を披露し、部門賞並びに３名の個人賞受賞という輝かしい成績をおさめられました。

なお、今回の大会出場及び結果報告のため、表敬訪問を受ける予定となっております。

また、千葉ロッテマリーンズに入団した富里市出身の坂井遼選手につきましては、５月２８日、

ＺＯＺＯマリンスタジアムにおいて、イースタンリーグの巨人戦にプロ初登板し、見事にデビューを飾られ、当日は私も、登板に先立ち、直接坂井選手にお会いし、エールをお送りしました。

富里高校ジャズオーケストラ部の皆さんや坂井選手のように、今後も、富里の若者たちが、様々な分野で、世界へはばたき、活躍していくことを期待しております。